

Laney
POWER TO THE MUSIC

LANEY TI100

取扱説明書



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに ～LYNDON LANEY からの挨拶～

Laney 商品をお買い求め頂きありがとうございます。私たちが開発し製作した商品はあらゆるディテールにこだわり、丹精込めて作り上げています。末永く楽しんでいただけることと信じています。Laney の歴史を振り返ると、私が幼い頃、自宅のガレージで真空管アンプを開発していた 1967 年までさかのぼることになります。そして現在に至るまで、ギター、ベースを始め、PA 機器、キーボードアンプ等、様々な分野での商品開発を、エンドーサーである世界的に有名な数々のミュージシャンとともに歩み、成長を重ねてきました。もちろん、我々 Laney 商品が世界に注目されるようになったきっかけでもある“ミュージシャン”が求める素晴らしいサウンドのアンプ造りに念頭を置きながら一生懸命取り組んでおります。

鳴りやまぬ鐘と雷鳴が轟くようなディミニッシュフィフスの重厚なギターサウンド。その音楽は、かつてローマカトリック教会で、悪魔の音楽として禁じられたものでした。まるで、墓から聴こえるような慟哭は、今までの音楽の歴史を塗り替え始めたのです。

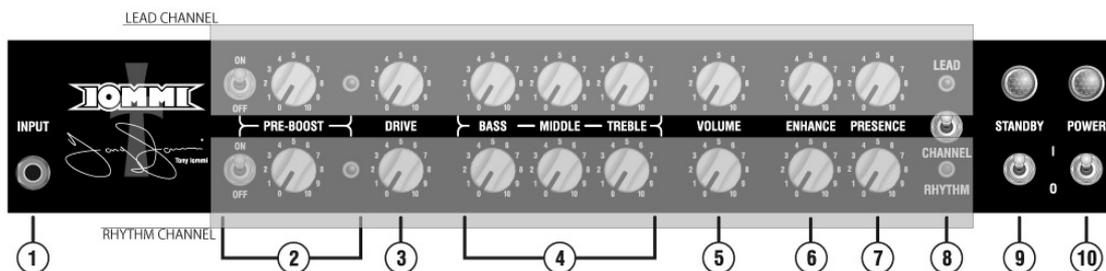
1970 年 2 月 13 日。Black Sabbath によってアルバム” Black Sabbath” がリリースされました。歪んだディミニッシュフィフスサウンドがトニー・アイオミによって演奏され、その時に使用されたアンプが Laney の LA100BL でした。この日から、Tony と Laney は共に歩み、急速に知名度を増していきました。今回発表された Laney の新しいトニー・アイオミのシグネチャーモデル GH100TI はもともと、約 20 年前に GH100S と呼ばれていたものです。我々は、トニー・アイオミと手を組み、新しい彼のシグネチャーアンプ TI100 を発表することができ、大変嬉しく、誇りに思っています。

TI100 は洗練された音を徹底的に追及し、あらゆるステージでトニーの協力を得ながら製品開発を重ねて生まれ、トニーの音のアイデンティティ、積極的なトーンを表現しています。人生において、自分が「最初である」と主張できる機会は決して多くありません。多くの人々は後から自分が「最も大きい」とか「最も早かった」と主張することはできませんが、最初のオリジネーターは一人のみです。ヘヴィー・メタルの場合、オリジナルのヘヴィー・メタルギター・トーンを作ったのはトニー・アイオミと Laney なのです。

安全上の注意

1. 水気のあるところで使用はしないでください。
2. 本体の掃除をする際は乾いた布のみを使用してください。
3. 本体は通気性の良い所に設置し、周囲に可燃物や爆発物を置かないようご注意ください。
4. 本製品はラジエーター、ストーブ等の熱源から離して使用してください。
5. 極性プラグは、2つのブレードが付いていますが、接地プラグは、二つの金属ブレードに加えてアース用のピンが付いています。幅の広いピン、及びアースピンは安全のために付いています。付属のプラグがコンセントに合わない場合には、旧式のコンセントの交換について電気技術者にご相談ください。
6. 電源ケーブルが踏まれたり挟まれたりしないよう注意してください。
7. メーカーから供給された付属パーツ以外は使用しないでください。
8. 長期の間ご使用にならない場合は、プラグを抜いてください。
9. 機器に異常が見られる場合は、販売店にご相談ください。
10. 接地プラグのピンは決して折らないでください
11. 電源コードに隣接するユニットに記載されているタイプの電源のみに接続してください。
12. この製品は重量があるため、ラックマウントする場合、リア部にもラックレールを付けマウントする必要があります。
13. 本製品に水などの液体をこぼしたり、本体部分にかけたりしないようご注意ください。
14. 極度の大量音は、慢性的な難聴を引き起こす可能性があります。個人により難聴に対するレベルは異なりますが、長い時間大量音にさらされることにより、ほとんどの人が何らかの聴覚のダメージを受けることとなります。米国政府の労働安全衛生局（OSHA）は以下のノイズレベルの許容量を定めています。OSHAによると、上記の許容量を超える音量にさらされた場合、聴力の損失の原因になるため、音量レベルが前述のように限度を上回る場合、難聴を防止するために耳栓やプロテクターをする必要があるとのこと。高い音圧レベルの音にさらされる危険から守るために、アンプがドライブされている間は、上記のように耳栓などを使用されることをお勧めします。

前面パネル



リード、リズムの独立 2 チャンネルを装備。本体のチャンネル・スイッチ(8)またはフットスイッチにて切り替えが可能です。

各々のチャンネルコントロール機能は良く似ていますが、そのサウンドは大きく異なります。

①入力端子: ギターインプット(1/4"モノラルフォンジャック)

②PRE-BOOST SWITCH: ブースト回路の ON/OFF 切り替えスイッチ。プリブースト回路は、プリアンプチューブへの入力信号に、ブーストペダルを使用したかのような自然なゲインアップを可能にします。これは、どちらのチャンネルでも動作します。

PRE-BOOST CONTROL: ブーストレベルを調整します。

PRE-BOOST LED: PRE-BOOST 機能が作動しているときに点灯します。

③DRIVE: LEAD チャンネルの歪み量を調整します。時計回りにまわすと、歪みがさらに深くなります。(5)のボリュームチャンネルと合わせ、好みのディストーションレベルになるよう調整してください。

④EQ CONTROLS: 3 バンドのパッシブトーンコントロールです。まずは中間の 5 から調節することをおすすめします。

⑤VOLUME: 各チャンネルの音量をコントロールします。(3)の DRIVE コントロールと組み合わせ、ディストーションレベルを調整してください。

⑥ENHANCE: 低い周波数でアンプのレスポンスのコントロールをします。時計回りに回していくことで、ルーズなローエンドからタイトなレスポンスまでをコントロール可能です。最適なセッティングは使用するスピーカーキャビネットにより異なります。

⑦PRESENCE: 出力部の高域周波数トーンコントロールです。調節することで、よりエッジの効いた煌びやかなサウンドに変化させることができます。

⑧CHANNEL SWITCH: LEAD と RHYTHM チャンネルを切り替えます。作動しているチャンネル側の LED が点灯します。

⑨STANDBY SWITCH: 本機をスタンバイモードにするためのスイッチです。スタンバイモードになると真空管が温まったままの状態を保つことができます。一時的に本機を使用しないときには、このスイッチを使用してください。

STANDBY LAMP: スタンバイモードが解除されている際に点灯します。

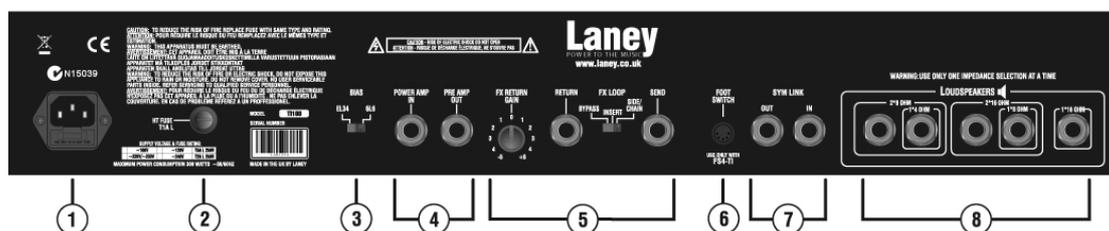
⑩POWER SWITCH: 本体のメイン電源スイッチです。チューブアンプはスイッチを入れた後、通常

に演奏可能な状態までのウォームアップに 30 秒から 2 分ほどかかります。チューブの保護の
ため、まず POWER SWITCH を ON にし、その後 STANBY SWITCH を解除してください。

POWER LAMP: 電源が ON の際に点灯します。

ご使用にならないときは、スイッチをオフにし、電源コードを抜いてください。

背面パネル



①電源ケーブルソケット/ヒューズ： 電源ケーブルを差し込むソケットです。表示の電圧、ヒューズの値が正しいことを確認の上、電源ケーブルをしっかりと差し込んでください。

②HT ヒューズ：（ハイテンション・ヒューズ）

本機の DC 電源を保護するヒューズが格納されています。

ヒューズの交換方法：サイズの合うヒューズをご使用ください。サイズの合わないものをご使用になった場合、火災や、アンプにダメージを与える原因となります。ヒューズの規格は、マニュアルとアンプの背面に記載されています。ヒューズはアンプを守るためのものです。ダメージを与えないよう十分ご注意ください。

③BIAS SWITCH: パワーアンプ部に搭載する真空管のバイアス設定を切り替えるためのスイッチです。取り付けた真空管に合わせて6L6またはEL34に設定してください。T1100は工場出荷時に、4本の6L6真空管を使用するように設定されていますが、性能を最大限に発揮するために、マッチングされた真空管のセットを使うことをお勧めします。

④POWER AMP IN: 外部機器からの信号を本機のパワーアンプへ入力するための端子です。このジャックに外部機器が接続されていると本機のプリアンプの信号は出力されなくなります。

POWER AMP OUT: 外部のパワーアンプなどの機器へ本機のプリアンプ通過後の信号を送るための端子です。出力はアンバランス仕様、出力レベルはラインレベルになります。

⑤FX RETURN GAIN: このコントロールには2つの用途があります：

1) サイドチェイン・モード: ダイレクト音(ドライ音)とエフェクター音(ウェット音)のミックスレベルをコントロールします。

2) インサートモード: エフェクト音全体のレベルコントロールとして動作します

・EFFECTS LOOP RETURN : FX SEND ジャックに接続した外部エフェクターからの信号を本機に戻すための入力端子です。

・ EFFECTS LOOP SWITCH : FX SEND/EFFECTS LOOP RETURN ジャックの接続モードを設定します。

1) SIDE CHAIN: (サイドチェイン) 本機のダイレクト音 (ドライ音) と外部エフェクターからの信号 (ウェット音) をミックスさせるサイドチェイン・タイプの接続モードになります。

2) INSERT (インサート) : 本機のダイレクト音 (ドライ音) を遮断し、外部エフェクター

を經由した信号(ウェット音)のみを出力するインサート・タイプの接続モードになります。このモードにすると RETURN LEVEL コントロールは本機パワーアンプの直前に位置するゲイン・コントロールとして機能しますので、グラフィック EQ のような外部エフェクターをつなぐことで起こる音量の低下を補正することができます。

※注意：インサートモードで FX RETURN LEVEL CONTROL のゲインが 0 の時は、アンプの出力がされなくなりますので、コントロールレベルのゲインは「5」以上に設定してください。

3) BYPASS: (バイパス) このモードにするとグローバル FX ループ回路は完全にバイパスされます。

FX SEND: 本機のプリアンプ通過後の信号を外部エフェクターに送るための出力端子です。

⑥FOOTSWITCH CONNECTIONS: TI100 は FS4-TI FOOTSWITCH と接続する為の 5 PIN DIN 端子を装備しています。フットスイッチではチャンネルの切り替えと、各チャンネルに搭載された PRE-BOOST の ON/OFF のリモートコントロールを行います。

⑦SYM LINK: 2 個以上のアンプを接続する際に使用します。複数のアンプを同期させることによって、マスター側のチャンネルを変えるとスレーブ側のアンプのチャンネルも変更することが可能になります。同時にプレゼンスとエンハンスのコントロールも同期することになります。

・SYM OUT: このジャックからスレーブ用アンプへ接続することでチャンネルの同期を可能にします。

・SYM IN: マスターアンプからの出力を入力することで同期を行います。

⑧LOUDSPEAKER CONNECTIONS: 様々なインピーダンスのスピーカーへ接続できる 5 つの端子を備えています。ご使用になるスピーカーとインピーダンスが異なると、アンプの性能が十分に発揮できないだけでなく、アンプ本体にダメージが及びますのでご注意ください。また、スピーカーを接続せずに使用すると破損の原因となります。

故障かなと思ったら

故障かなと思ったらまず次の項目をチェックしてみてください。書かれている通りに対処しても症状が改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ・ 前面/背面パネルや換気口が熱を持っている。
- ・ 本機の使用中は、真空管の発する熱によって前面/背面パネルや換気口が熱を持ちます。故障ではありません。
- ・ 電源プラグは正しく接続されており、POWER スイッチもオンになっているが、電源インジケータが点灯しない。
- ・ POWER FUSE フォルダのヒューズが切れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ・ 電源インジケータは点灯するが、音が出ない。
- ・ スタンバイモードになっていないか確認してください。スタンバイモードになっている場合は、STANDBY スイッチを下に倒してスタンバイモードを解除してください。
- ・ 背面パネルの EFFECTS LOOP スイッチを[SIDE CHAIN]または[INSERT]にしたときは、FX RETURN LEVEL コントロールの設定が低いと出力音量が小さく鳴ります。音量を上げても音がでなかったり小さかったりする場合は、FX RETURN LEVEL コントロールをゆっくりと少しずつ上げてみて下さい。
- ・ HT FUSE フォルダのヒューズが切れている可能性があります。お買い上げの販売店に御相談してください。
- ・ コントロール類が効かない。徐々にパワーが落ちる。
- ・ 真空管の劣化または破損の可能性があります。お買い上げの販売店に御相談してください。

修理について

故障かなと思われる症状が出た時には、この取扱説明書をもう一度よくお読みになり、接続や操作などを御確認下さい。それでも改善されないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせてください。調整、修理致します。

真空管の交換について

真空管は消耗品で、仕様戸とももに性能が劣化します。劣化の進行度合いは、使用環境により大きく異なりますが、劣化そのものを避けることは出来ません。真空管の交換には専門的な技術が必要です。交換はお買い上げの販売店に御依頼ください。真空管の交換は保証期間内でも、保証の対象外となります。

主な仕様

供給電圧 : 100V

メインヒューズ : T5A

HT ヒューズ : T1A

消費電力 : 300W

出力 : 100W

寸法、重量 : 678W×271H×288Dcm、21.5kg

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適當（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。